

●追悼山行 間ノ岳

●メンバー 谷嶋

●日程 2015年8月14日

毎年恒例の福原さんの追悼山行である。今回も誰か誘おうと思いつつ、仕事に追われて全く計画できず、単独での山行となってしまった。

朝 5 時の沢渡駐車場は土砂降りの雨で雷鳴も聞こえ、とても登りに行く気になれなかったが、天候は回復傾向とのことでタクシーに乗る。当初は西穂高に登った後に間ノ岳への縦走を予定していたが、雨中の稜線縦走は気が進まない。上高地で身支度をしながら、稜線上の行動が少なくて済む岳沢からの往復ルートに変更することに決めた。小降りになった 6:35 に上高地を出発。登山口を 6:52 に通過。8:03 に岳沢ヒュッテに着き、9:33 に天狗のコルに到着。昨年上小牧さん、細野さんと来たときには悪天のために天狗のコルから引き返したが、今年は雨も小降りなので間ノ岳まで行ってみることにした。濡れて滑りやすい稜線をかなり慎重に進み、10:40 に間ノ岳に到着。雨のため線香は焚けなかったが、一昨年の花を掃除して新しい花を供えた。ビールを一口飲み、残りを山頂に撒いて年に一度の福原さんとの短い宴会を終える。10:48 に下山開始。11:34 に天狗のコル着。この辺から高山病のためか頭痛あり。12:33 に岳沢小屋。13:28 に登山口。

今年感じたのは、濡れた稜線歩きが非常に悪かったこと。ルートを少しでも外すと濡れた岩苔が素晴らしく滑る（実際に 1m ほど滑り落ちた）。天狗の頭から少し下の所謂逆層スラブの下りでは、真剣に帰ろうかとも考えた。ここは鎖があるものの、もし滑ったら崖下まで落ちて助からない。とにかくこの周辺は登る度により難しく感じる。なお、すれ違った数パーティーにガイド組はおらず、雨の本ルートは回避したものと思われた。

人は記憶に残ることで生き続ける。未来の人に影響しその人を動かす。友達の例会の見学に付き添いでやって来てどういう訳か自分自身が入会した後にめきめき体力をつけた自称ケイレイのシャラポワ・福原さんを思い出し（?）、今回は上半身を脱力して無駄な力を使わずに歩くことで、登行ペースを維持することを意識して登ってみた。重心位置を崩さずに登れる緩傾斜の登山道は楽に登れる気がするが、上半身が脱力できていないガレ場では同じ運動強度でも心拍数が高まると感じた。今後も脱力を意識して歩き、効果があるかどうか感じてみたい。



間ノ岳山頂